

令和6年度

Furusato Report Presentation

ふるさとレポート発表会



令和7年

3月2日(日)

13:00
~17:00

会場 中野市立博物館 休憩室



13:00 開 会

13:10 第一部： 中野市立博物館実施の
講座参加者による成果発表

湯本 明雄

訪れる人みんなに植物の魅力を伝えたい！
「北信濃ふるさとの森文化公園花ガイド」

小林 一久

中野市における
渡り鳥の渡来渡去時期について
～2024年度観察結果～



14:00 第二部： 生涯学習課・博物館
学芸員による成果発表

本村 健

チョウゲンボウのルースコロニー
における営巣数と餌環境、捕食者との関係

水橋 絵美

地域文化を支える収蔵コレクション
～国内の動向と中野市立博物館の現状と展望～

大滝 敦士

令和4年度に入手した
東江部村関係文書の概要について



15:10 第三部： 講演会『発掘された弥生時代の信州中野』

柳生 俊樹
生涯学習課学芸員

千曲川流域の弥生時代遺跡

黒岩 隆
長野県埋蔵文化財センター
調査研究員

南大原遺跡― 弥生時代中期のものづくりムラ
～玉と鉄をめぐって～



申込みはこちら！
(電話またはメール可)

関心がある発表からの参加や途中退室も可能です。
お気軽にお越しください。



参加費
無料

《要申込み》



中野市立博物館 TEL0269-22-2005

〒383-0046 中野市大字片塩 1221 [Email] hakubutsukan@city.nakano.nagano.jp

《主催》 中野市立博物館・中野市教育委員会事務局生涯学習課



中野市立博物館
ウェブサイトは
こちら！

南大原遺跡－弥生時代のものづくりムラ ～玉と鉄をめぐって～

中野市上今井地区の南大原遺跡では、千曲川治水事業に伴う上今井遊水地の整備に先立って、長野県埋蔵文化財センターが発掘調査をおこなっています。今回は、調査を担当する黒岩隆さんをお招きし、今年度の調査成果についてお話しいたします。

千曲川流域には、銅戈や銅鐸が出土した柳沢遺跡など、重要な遺跡が多くあります。ひょっとしたら、その中でも南大原遺跡が一番すごいかもしれません。楽しみです。

発掘調査区の空撮写真



弥生時代の竪穴住居跡



ヒスイ(?)の勾玉

改めて注目したい！ 栗林遺跡

南大原遺跡の東、旧千曲川を挟んで向き合う場所に、栗林遺跡があります。南大原遺跡とほぼ同じ時代、弥生時代の集落跡として、古くから知られた遺跡です。

過去の調査成果を改めて見ると、地域の中核的な集落の遺跡でしか見つからない、珍しいものが発掘されています。南大原遺跡と合わせて、弥生時代の中野市の中心だったのでは、と想像してしまいます。



青銅の戈を石で模倣した「石戈」の、根元の部分の破片。柄に装着するための紐を通す孔と溝を確認できる。幅4.0cm。



約3分の2が失われるが、もとは直径2cmほどの指環。珍しいもので、松原遺跡や中俣遺跡(ともに長野市)のような地域の中核的集落の遺跡で出土する。栗林遺跡の重要性を物語るもの。

